

岡本 真道 氏 学位審査結果の要旨

主査：木梨 達雄

副査：藺田 精昭、野村 昌作

小児食物アレルギーで最も頻度の高い鶏卵アレルギーは除去が治療の基本であり、食物負荷試験によって耐性化を調べることができるが、負荷試験の予測についてはよい指標が求められている。岡本真道氏は鶏卵アレルギー小児患者を対象に経口負荷試験および卵白特異的 IgE および IgG4 抗体を測定し、経口負荷試験の予測として IgE および IgG4 値、IgE/IgG4 比の有用性を検討した。患者 105 名の IgE, IgG4 の抗体値、および IgE/IgG4 の比について R O C 解析を比較した結果、感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率において IgE/IgG4 比が有意に高値であることを示し、負荷テストの予測指標として優れていることを明らかにした。背景にある免疫現象についての質疑応答にも的確に答え、学位に充分値する研究と考えられる。